



2016年12月期 本決算説明資料

2017年2月14日
株式会社ツバキ・ナカシマ
(東証一部 6464)

免責事項



本プレゼンテーション資料は、本プレゼンテーション資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社は本プレゼンテーション資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本プレゼンテーション資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は本プレゼンテーション資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本プレゼンテーション資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本プレゼンテーション資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。

本プレゼンテーション資料には、1995年米国私的証券訴訟改革法上の将来予想に関する記述を構成する記載(推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます)が含まれております。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。また、将来予想に関する記述は、戦略、計画又は意図に関する議論により特定可能な場合もあります。本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

当社以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本プレゼンテーション資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。

本プレゼンテーション資料で使用された財務情報は、別途明記する場合を除き、国際会計基準審議会により策定された国際財務報告基準(IFRS)に基づき作成されております。

2017/2/14



目次

1. 2016年12月期実績 P3
2. 中期経営計画(抜粋) P14
3. 2017年12月期見通し P18

「一球一心」



一つの球に一つの誠心、愛情をこめて鋼球を作り上げること。

「一精一誠」



誠は真心であり、精は精密・精神を意味する。仕事に真心を打ち込んで、魂のこもった精密で優れた製品を作り上げること。



1. 2016年12月期実績



2016年12月期サマリー

工作機械関連の回復遅れや為替換算による影響はあったものの、当期利益過去最高を達成

外的要因



株式会社 ツバキ・ナカシマ

内的要因

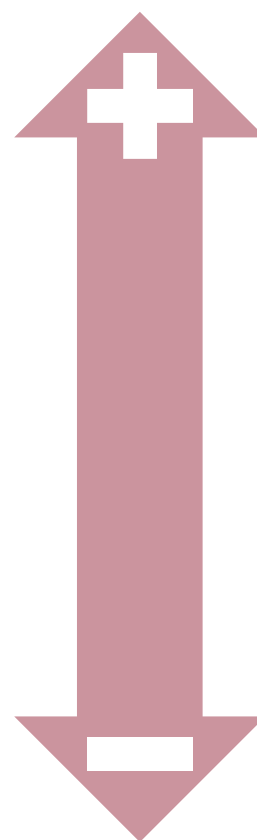
自動車関連は概ね年初の想定通りに進捗

工作機械関連は年初の予想に反して市況回復遅れ(回復の兆しあり)

米大統領選挙までの円高トレンドによる連結業績へのマイナス影響

4つの戦略的拡販活動の結果、ボールビジネスは順調に進捗

コスト改善活動及びバランスシートマネジメントの継続的強化



2016年12月期決算ハイライト



売上面

- 売上収益は為替換算影響を除き前年比2.3%増
- ボールビジネスは為替換算影響を除き前年比5.9%増となり、工作機械関連の需要減によるマイナスをカバー

収益面

- 当期利益は昨年の過去最高を更新し4,632百万円(前年比3.5%増)、為替換算影響を除き前年比9.0%増
- 営業利益率は前年比0.7%増の18.8%を達成

キャッシュ面

- 継続的なバランスシートマネジメントの強化によりフリーキャッシュフロー58億円を達成
- 期末配当予想額は見通し通り1株33円の予定(年間配当は63円・配当性向54.1%、自己株式の取得を含めた総還元性向74.9%の予定)

(※)総還元性向は(中間配当金支払総額+期末配当金支払総額(予定))÷当期利益により算出しております。



2016年12月期連結業績

為替換算影響を除き売上収益、営業利益及び当期利益全て前年比増を達成

(百万円)

	FY2015	FY2016			
	実績	実績	為替換算影響	増減額 (除く為替換算影響)	増減比 (除く為替換算影響)
売上収益	39,178	36,886	▲ 3,198	906	2.3%
営業利益	7,110	6,922	▲ 616	428	6.0%
営業利益率	18.1%	18.8%	—	—	—
EBITDA	8,890	8,509	▲ 791	410	4.6%
EBITDAマージン	22.7%	23.1%	—	—	—
税引前利益	6,361	6,409	▲ 350	398	6.3%
当期利益(※1)	4,476	4,632	▲ 247	403	9.0%

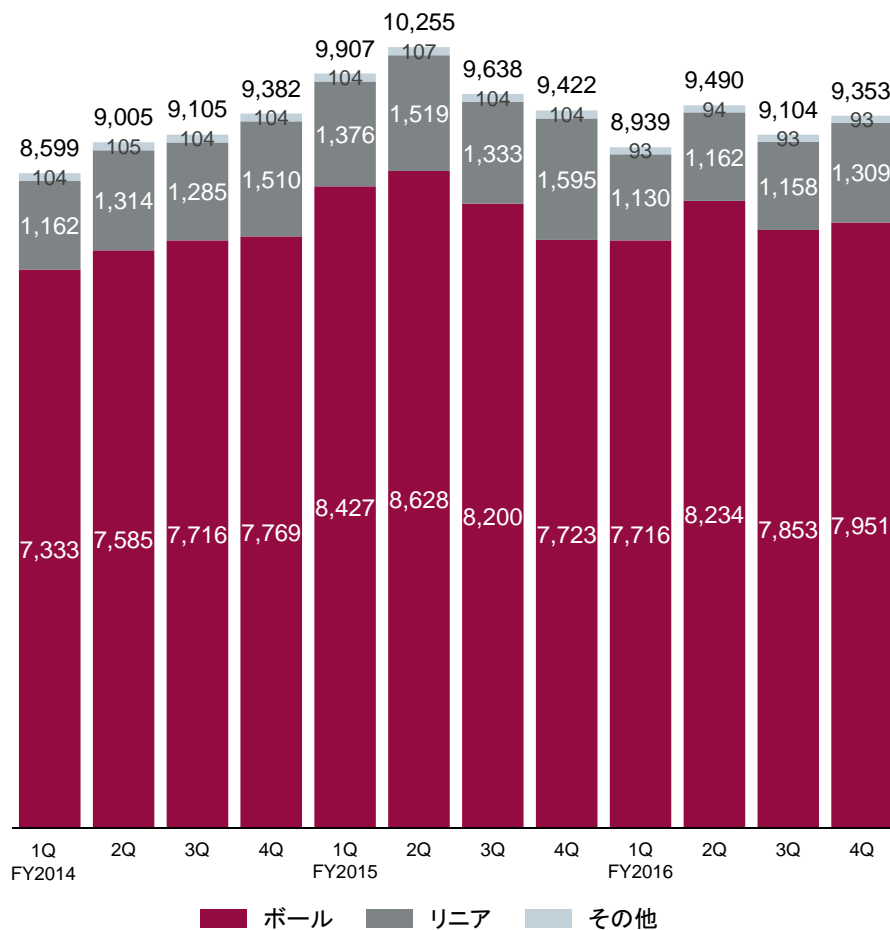
(※1)“当期利益”は、“親会社の所有者に帰属する当期利益”を記載しております。



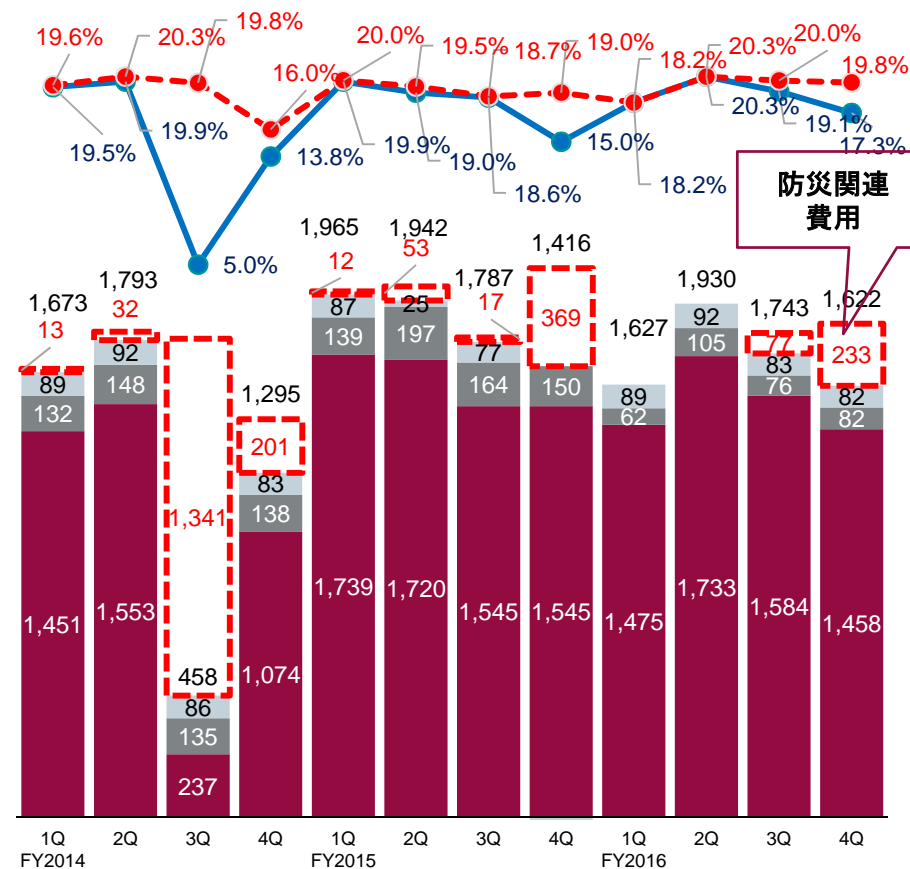
四半期グループ連結業績推移

売上収益は1Qで底打ちし上昇トレンド、利益面については引き続き高水準を継続

売上収益推移 (百万円)



営業利益・営業利益率推移 (百万円、%)



(注)2015 4Qの“その他”は▲279

赤点線枠は、一時調整費用を表示



2016年12月期セグメント別売上収益

ボールビジネスは為替換算影響を除き前年比5.9%増となり、工作機械関連の回復遅れによるリニアビジネスのマイナスを大きくカバー

(百万円)

	FY2015	FY2016			
	実績	実績	為替換算影響	増減額 (除く為替換算影響)	増減比 (除く為替換算影響)
グループ連結	39,178	36,886	▲ 3,198	906	2.3%
ボールビジネス	32,979	31,754	▲ 3,164	1,939	5.9%
リニアビジネス	5,824	4,759	▲ 34	▲ 1,031	▲ 17.7%
その他	375	373	—	▲ 2	▲ 0.7%



2016年12月期地域別売上収益(ボールビジネスのみ)

工作機械需要低迷による日本のマイナスを欧州／アジア地域での順調な拡販でカバー

(百万円)

	FY2015	FY2016			
	実績	実績	為替換算 影響	増減額 (除く為替 換算影響)	増減比 (除く為替 換算影響)
日本	12,631	12,367	—	▲ 264	▲ 2.1%
北米	6,055	5,409	▲ 607	▲ 39	▲ 0.6%
欧州	6,055	5,818	▲ 1,191	954	15.8%
アジア	8,238	8,160	▲ 1,366	1,288	15.6%

(ご参考) 2016年12月期地域別売上収益



(百万円)

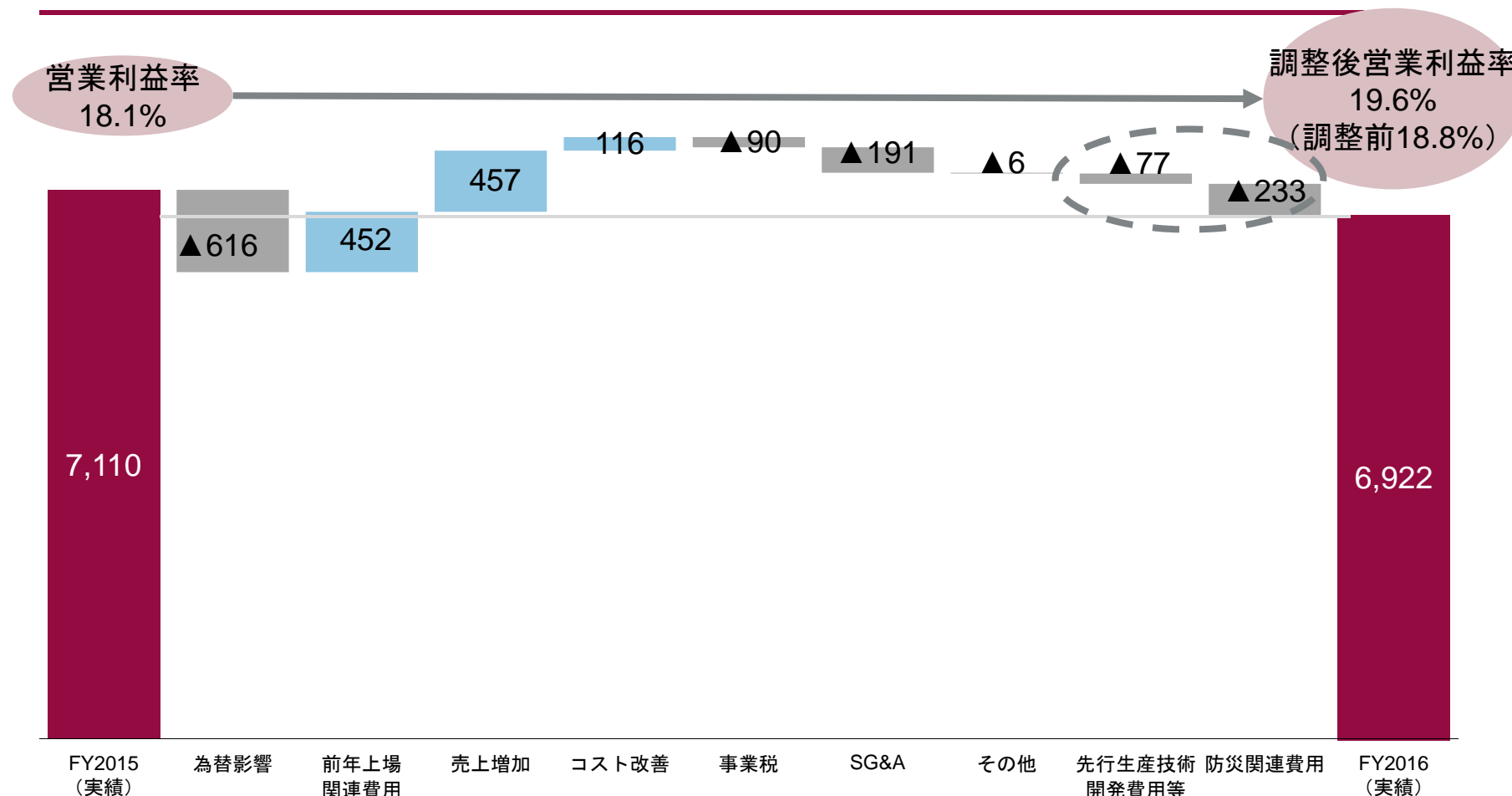
	FY2015	FY2016			
	実績	実績	為替換算 影響	増減額 (除く為替 換算影響)	増減比 (除く為替 換算影響)
日本	18,497	17,252	—	▲ 1,245	▲ 6.7%
北米	6,055	5,409	▲ 607	▲ 39	▲ 0.6%
欧州	6,055	5,818	▲ 1,192	955	15.8%
アジア	8,571	8,407	▲ 1,399	1,235	14.4%



2016年12月期営業利益増減要因分析

防災関連等の一時費用はあったものの営業利益率は高水準を継続

営業利益(対前年比)

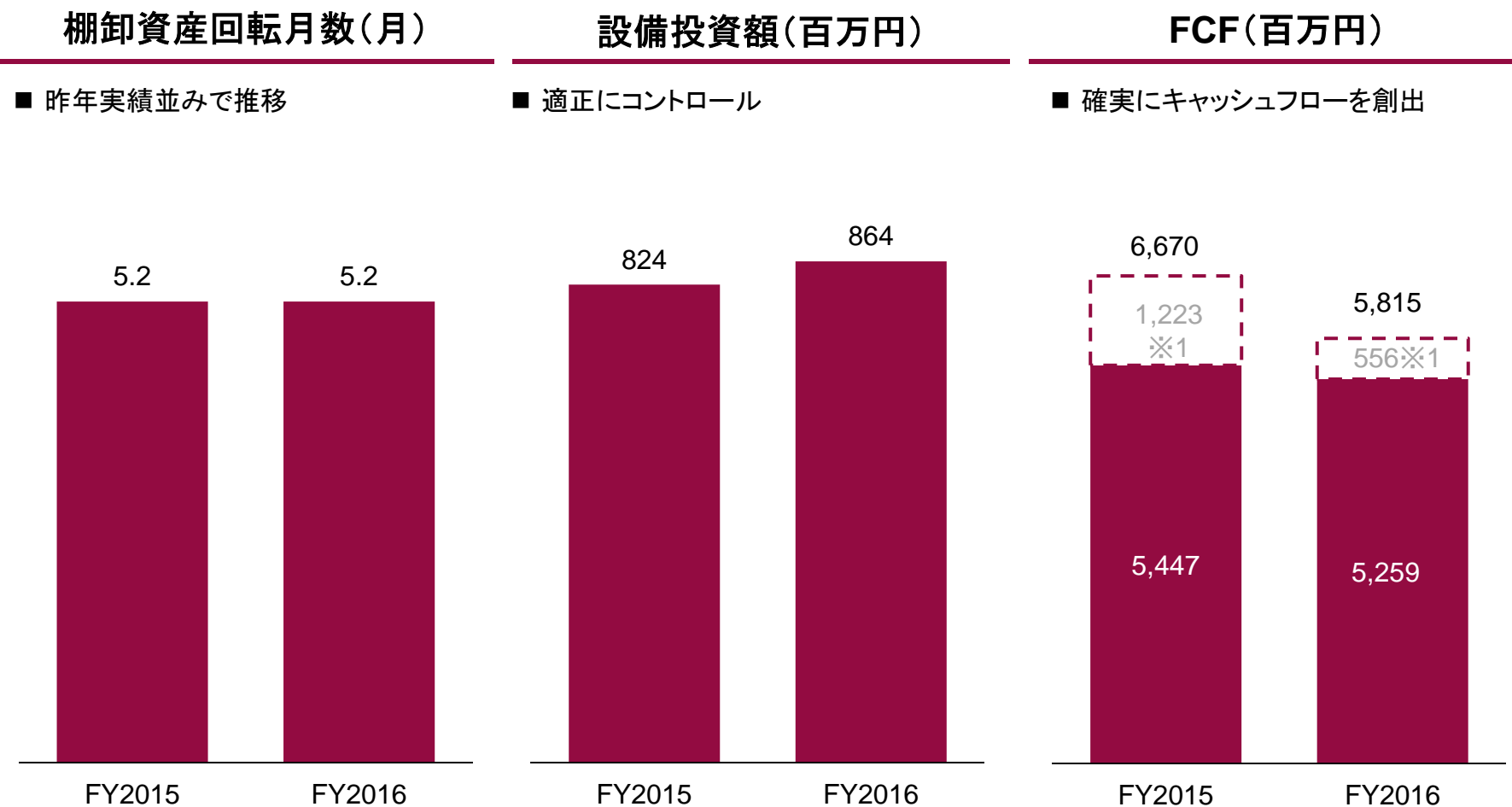


(※)調整後営業利益率は一時費用として“先生産技術開発費用等”及び“防災関連費用”を考慮して算出しております。



BS／CFにおける業績

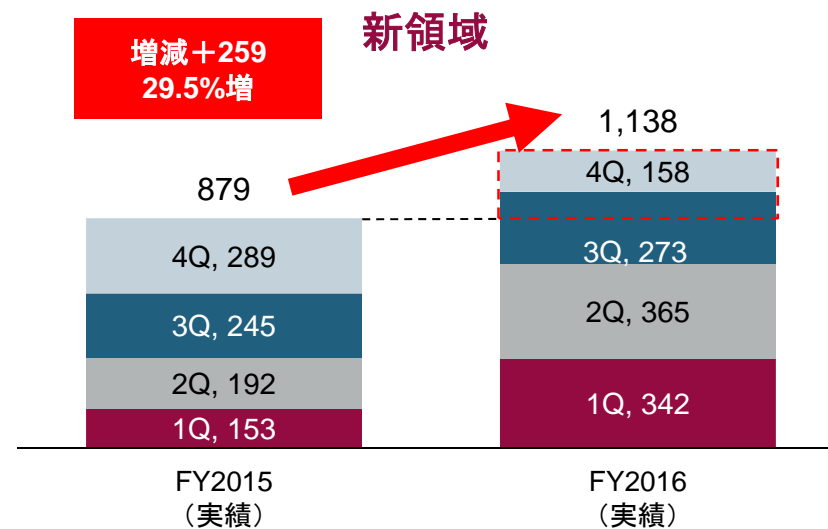
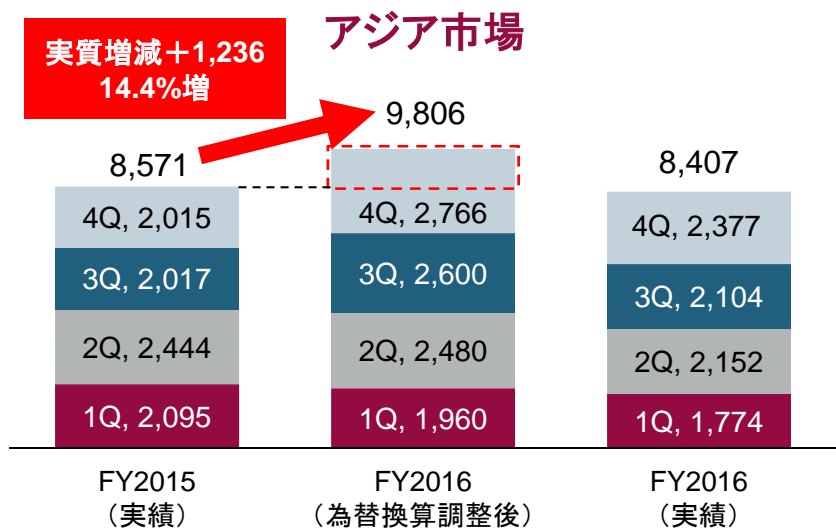
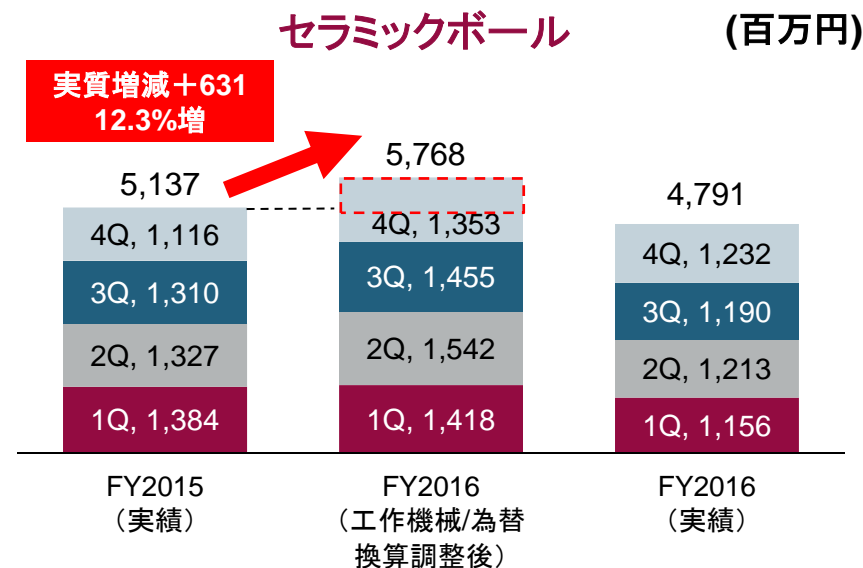
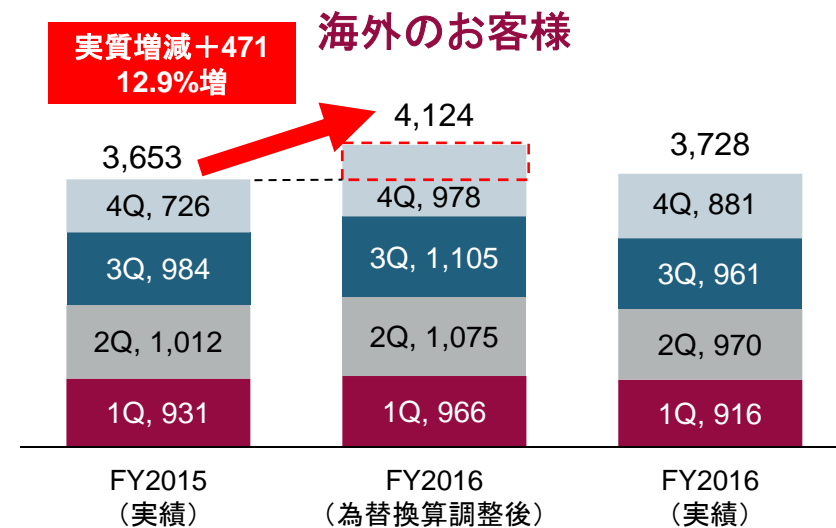
バランスシートの適正なコントロールにより、確実にキャッシュフローを創出



(※1)売掛債権流動化開始初期効果



2016年12月期戦略的な取り組み



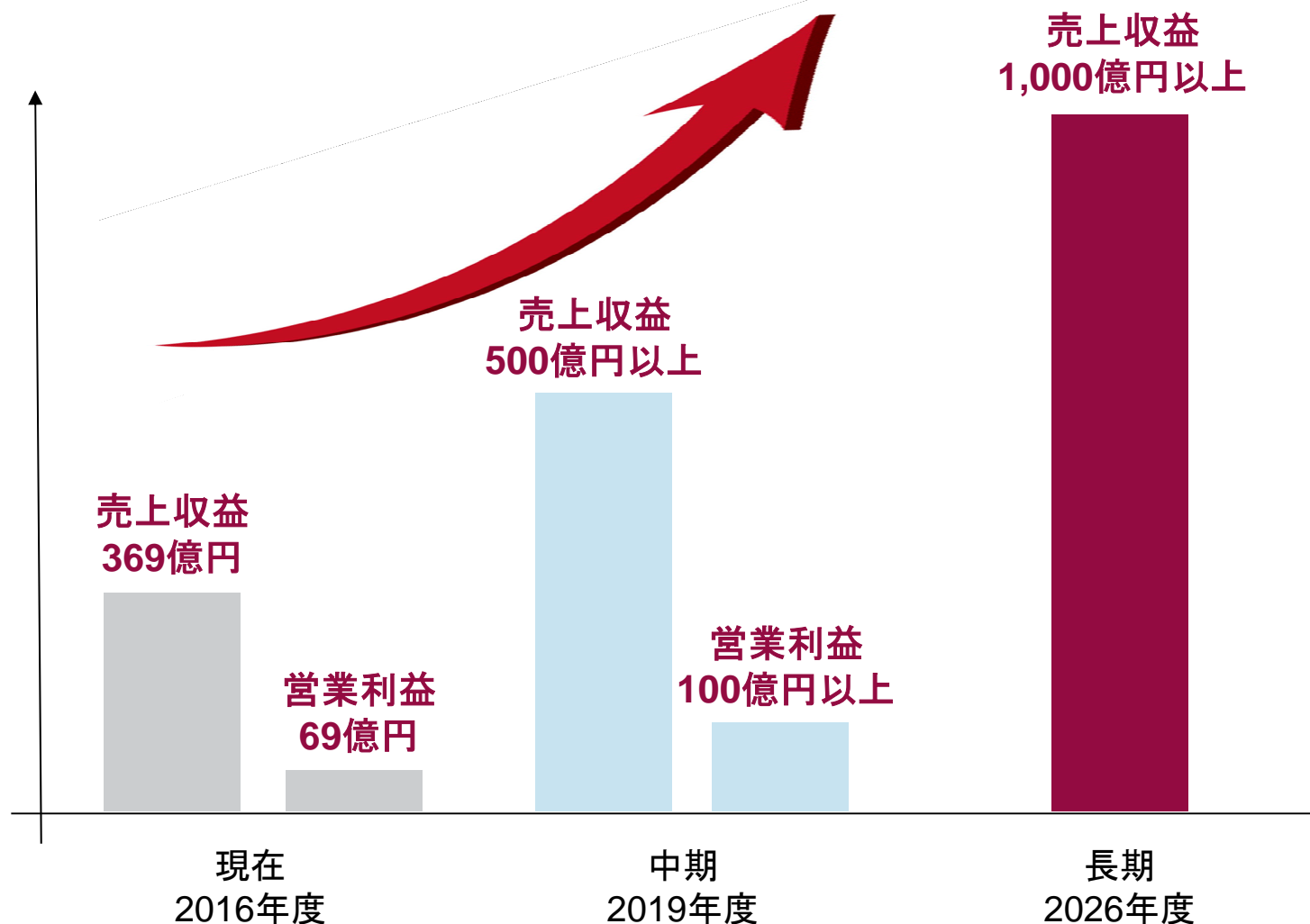


2. 中期経営計画(抜粋)



中長期的に目指す事業規模

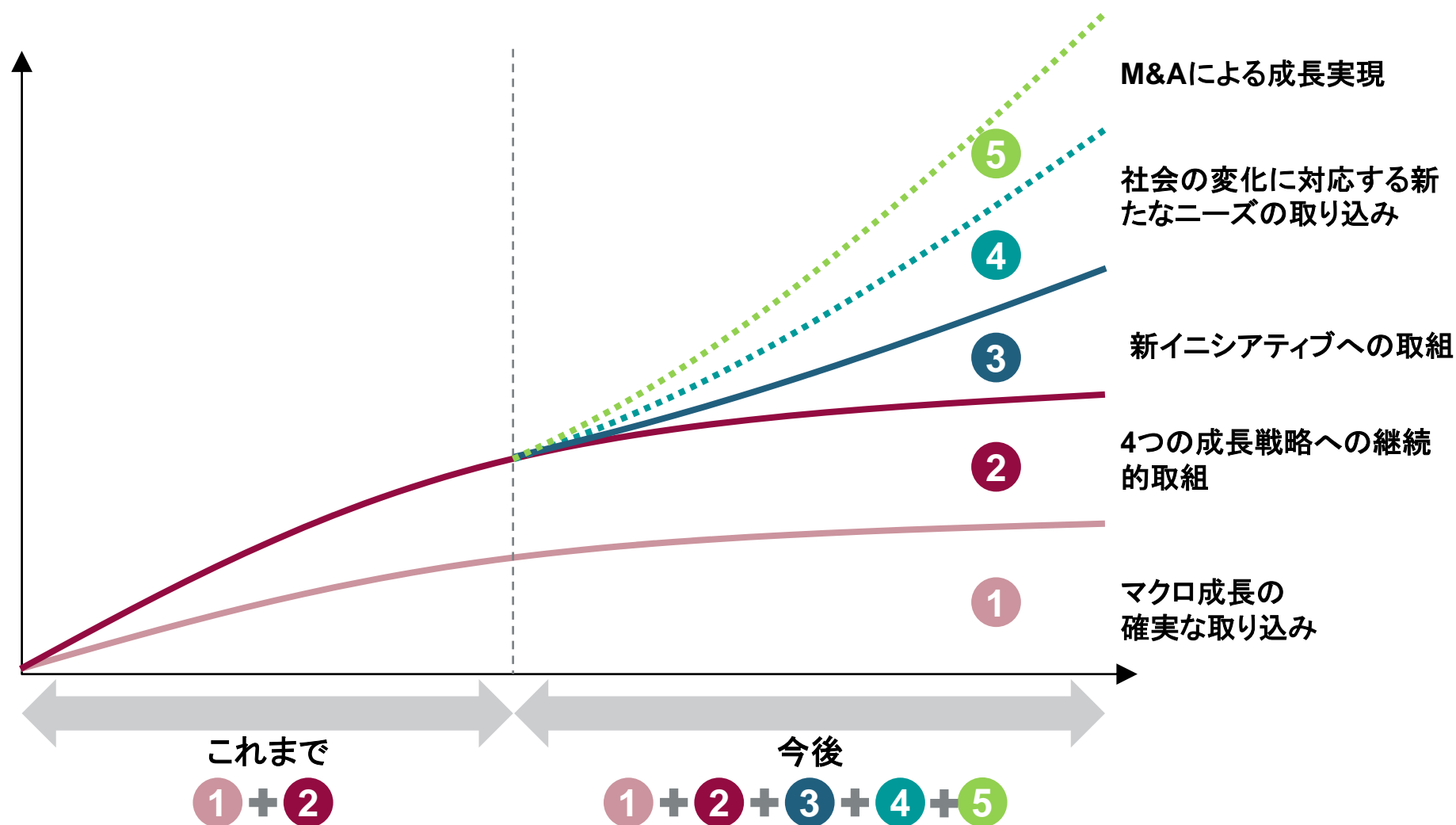
さらなる利益ある成長を目指し、具体的には、2019年度に売上収益500億円以上、2026年度には売上収益1,000億円以上を目指します





さらなる利益ある成長の実現イメージ

これまでの利益ある成長をさらに加速すべく、成長戦略を進化させます





2017年12月期取組方針

継続的な利益ある成長により、最高利益額の更新を目指す

売上面

- 4(既存)+2(新規)の販売戦略の推進
 - ✓ 4つの既存販売戦略
 - 海外のお客様
 - セラミックボール
 - アジア市場
 - 新領域
 - ✓ 2つの新規販売戦略
 - 日系大手ベアリングメーカー
 - 非ベアリングメーカー

収益面

- グローバル・ワン・マネジメントによる継続的QCDSの強化

キャッシュ面

- バランスシートマネジメントの継続的強化
- 目標配当性向50%
年間配当予想64円(中間配当31円、期末配当33円)



3. 2017年12月期 見通し



2017年12月期業績見通し

当期利益、営業利益過去最高を目指す

(百万円)

	FY2016	FY2017	
	実績	見通し	前年比
売上収益	36,886	38,500	4.4%
営業利益	6,922	7,600	9.8%
営業利益率	18.8%	19.7%	—
EBITDA	8,509	9,200	8.1%
当期利益	4,632	5,000	7.9%
基本的1株当たり当期利益(円)	116.46	126.72	8.8%

- 業績予想の為替レートは、1ドル110.00円、人民元16.40円を想定 (2016年実績 1ドル108.84円、人民元16.37円)